

平成28年5月20日（金）
教育委員会事務局文化財課
担当者 安
内 線 5625
直 通 076(225)1844

文化財の国指定について

平成28年5月20日（金）に開催された国の「文化審議会」（会長 ^{まぶち}馬淵 ^{あきこ}明子）において、文部科学大臣から諮問のあった次の案件の指定が審議され、答申された。今回の答申どおり指定されれば県内の国指定重要文化財（建造物）は44件となる。

重要文化財（建造物）

名 称	所在地	概 要
<small>きゅうかどみ けじゅうたく</small> 旧角海家住宅 5棟 <small>おもや</small> 主屋 <small>かざいぐら</small> 家財蔵 <small>しおものぐら</small> 塩物蔵 <small>しょうずぐら</small> 小豆蔵 <small>こめぐら</small> 米蔵 土地	輪島市門前町黒島町	北前船主集落である輪島市黒島地区伝統的建造物群保存地区の核となる住宅。主屋は明治前期に建てられ、他の4棟の蔵も明治後期までに整備された。 昭和47年には県指定有形文化財（建造物）に指定されている。

（参考）

昭和47年8月 県指定有形文化財「角海家住宅及び土蔵」として指定
平成19年3月 能登半島地震により被災
平成20～23年度 修理工事実施
平成21年6月 黒島地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
平成23年8月 輪島市が展示公開を開始

きゅうかどみ けじゅうたく
旧 角海家住宅について

名 称	旧角海家住宅 5棟 おもや 主屋 かざいぐら 家財蔵 しおものぐら 塩物蔵 しょうずぐら 小豆蔵 こめぐら 米蔵 土地
所在地	輪島市門前町黒島町口 94 番地
所有者	輪島市
建築年代	(主屋) 明治前期、(家財蔵、小豆蔵) 明治中期、(塩物蔵、米蔵) 明治後期
特 徴	<p>旧角海家住宅は、北前船主集落である輪島市黒島地区伝統的建造物群保存地区の中心やや北寄りに所在する。</p> <p>初代の孫左衛門は北前船主中屋藤五郎の船頭であったと伝えられ、嘉永年間(1848～54)までに角屋を名乗り、独立船主として隆盛した。現在の屋敷構えは明治4年の大火後に順次整えられたと伝える。明治中期には北前船による取引が低迷し、明治後期からは土地経営や漁業、金融業などを生業とした。昭和47年には県指定有形文化財に指定され、平成19年能登半島地震により大きな被害を受けたが、平成23年災害復旧工事を完了し現在に至る。</p> <p>旧角海家住宅の主屋は、黒島地区最古級の遺構で、ミツボガコイといわれる平面形式、格子窓やサガリなどの正面構え、外壁の下見板張などに黒島の典型的な住宅形式をよく示している。海と関連する生業にまつわる土蔵群や屋敷構えも良好に保存され、国選定重要伝統的建造物群保存地区の核となる住宅として高い価値を有している。</p>
(用語説明)	
ミツボガコイ	中庭を三方からコの字型に居室で囲む間取り。黒島地区で最も発展した一番多い間取りとされる。

旧角海家住宅写真



屋敷地外観



主屋正面外観



塩物蔵、小豆蔵、米蔵

(写真提供：輪島市教育委員会)

旧角海家住宅の位置

